



6月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

2021年(令和3年)

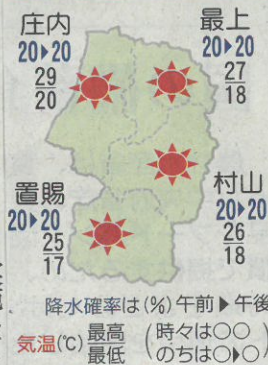
6/17

木曜日



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内023(622)5271
読者センター023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
©山形新聞社 2021

きょうの天気



商品の予約・変更 LINEで楽々

山形市の食品館256を運営する井筒屋(同市、榎森啓社長)は、通信アプリLINEを活用し、商品情報を発信するだけでなく、受け取った消費者が注文・変更もできる簡単予約販売システム「LINE@新鮮予約」を開発、運用している。榎森社長は同システムの販売などを手掛ける企業「C&CR」を3月に設立し、今月から山形放送の

資も得て、事業拡大を目指す。「LINE@新鮮予約」では、登録者に「山形牛A5ランクが290円で2139円」など数量限定商品の情報を一斉配信。スマートフォンなどで受け取った登録者が画面の「申し込み」をタップするだけで予約が完了し、キャンセルや個数変更もできる。顧客への情報・クーポンの一斉配信は既に多くの小売店が

画面上で予約し、変更もできる

★256厳選 ◆山形牛A5肩しゃぶしゃぶ ◆をご用意です 🍷🍷
暑い日にぴったりな「冷しゃぶ」でもお召し上がりいただけます 🍷
おいしいお肉でスタミナチャージを 🍷

精肉対面コーナーでお渡しです 🍷
18時以降ご来店のお客様はフロントへお声掛けください



山形牛A5肩しゃぶしゃぶ
規格: 約290g
限定: 20皿
お一人様: 2皿まで

¥2,139(税込)

ご予約はこちらから

256の井筒屋(山形) システム開発、販売

店側には売れ残りの懸念がなく、消費者にはお買い得商品を優先的に購入できる便利な仕組みだが、このシステムの狙いは「物を売る」ことではないという。榎森社長は「256のファンづくりと、購入者の好みなどを分析して再度アプローチするリマーケティングが目的」と解説する。分析結果は店づくり、品ぞろえ

好み分析、ファン獲得も

実施しているが、予約と、その変更も可能な点が新しいという。予約完了の知らせなどは自動配信するが、キャンセル・変更などは担当者が個別に対応。人件費を抑えながら、きめ細かくフォローする。

予約完了後は、登録者が256の店舗に行き、売り場から自分の予約番号が記された商品を持ってレジに進むと、他の商品と一緒に会計できる。2年前に運用を始めたところ、2日間で千個売れた商品や配信から十数秒で完売した商品もある。店舗全体の売上高、客単価も大きく伸びた。

(坂本由美子)

このシステム自体を販売するC&CRは、各社のニーズに応じた改良や管理を請け負うほか、会員制交流サイト(SNS)、インターネット利用の立案、マーケティングの企画なども行う。山形放送は今月、C&CRに出資し、ともに放送事業者向けのシステム構築も目指していく。放送局のファンづくり、放送局が取り組む通販事業での活用、購入者の分析結果の広告主への提供などが考えられるという。